

南房総・館山地域公共交通活性化協議会の会長選任について

当協議会役員については、規約第 5 条に従い、委員の互選により選出することとなっています。また、副会長においては、規約第 6 条により会長が指名することとなっています。

会 長		
副会長		
副会長		
監査委員		
監査委員		

※期間：令和 5 年 5 月 2 6 日～令和 6 年 3 月 3 1 日

※規約参照

(会長)

第 5 条 会長は、別表 1 に掲げる委員の互選によってこれを定める。

(副会長)

第 6 条 副会長は、別表 1 に掲げる委員のうちから会長が指名する。

(監査)

第 1 5 条 協議会に監査委員を 2 人置く。

2 協議会の出納の監査は、会長が指名する別表 1 に掲げる委員がこれを行う。

令和4年度 南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業報告

○会議開催

月 日	内 容
第1回 R4.5.26	【協議第1号】会長選任について 【協議第2号】令和3年度協議会事業報告について 【協議第3号】令和3年度協議会決算報告について 【協議第4号】令和4年度協議会予算（案）について 【協議第5号】令和4年度実証運行の内容案について 【協議第6号】路線バス 白浜千倉館山線のダイヤ見直しについて
第2回 R4.8.10	【協議第7号】南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について 【協議第8号】令和4年度実証運行事業詳細について 【報告第1号】路線バス 白浜千倉館山線のダイヤ見直し進捗状況について
第3回 R5.1.25	【報告第2号】 実証運行（2事業）の利用状況等について 【協議第9号】 実証運行（2事業）の実証期間延長について 【協議第10号】「チョイソコ南房総・館山」の停車場所追加について 【協議第11号】公共交通定額乗車券企画・造成事業について 【協議第12号】白浜千倉館山線のダイヤ見直しについて

○主な事業報告

①乗合送迎サービス（AI オンデマンド交通）「チョイソコ南房総・館山」実証運行について

- ・アイシン（株）のAI オンデマンドシステムを活用し、既存バス路線「平群線」運行エリアを中心に、南房総市三芳・平群地区及び館山市館野・九重地区の一部において、デマンド型送迎サービスの実証運行を実施。館山市内での乗降場所は当初館山駅及びイオンタウン館山のみだったが、カインズ館山店、館山病院、那古宿バス停を追加し利便性の向上を図った。
- ・運行期間：R4.10.17 から R5.3.31（113日間：水・日・祝運休）
- ・受託事業者：鏡浦自動車（株）

○利用状況

- ・期間中、のべ448人、1日平均3.96人が利用した。

②豊房線エリア等買い物シャトルサービス実証運行について

- ・既存バス路線「豊房線」運行エリアを中心に、南房総市白浜・千倉地区の一部及び館山市豊房・神戸地区において、これまでバス路線でカバーできていなかった集落内等に入り入れ、館山市内の商業施設等に向かう送迎サービスを運行。
- ・3つのコースを設定し、それぞれ週1回運行した。
- ・運行期間：R4.12.1 から R5.3.31（52日間）
- ・受託事業者：鏡浦自動車（株）

○利用状況 ・期間中、のべ194人、1便平均1.9人が利用した。

運行コース	運行便数	利用者数		合計	1便平均
		往路	復路		
火曜日コース（畑・大貫・古茂口等）	34	38	32	70	2.1
水曜日コース（神余・竜岡・布沼等）	34	33	30	63	1.9
木曜日コース（川下・東虹苑・岡田等）	36	31	30	61	1.7
合 計	104	102	92	194	1.9

③公共交通空白地対策アドバイザー派遣について

- ・①や②に記載した実証運行を通じ、将来的に公共交通の見直しを図るにあたり、住民や利用者のニーズを把握し、的確な見直しを行うべく、学識経験者である為国孝敏委員にアドバイザーを任命し、住民との意見交換への参加や助言をもらうこととした。

○実績

- ・令和4年7月末に1回派遣依頼。
- ・実証運行を行う地域の視察や交通事業者との意見交換、白浜地区民生児童委員協議会での意見交換を実施した。

④公共交通定額乗車券企画・造成について

- ・本地域のバス路線は Suica・PASMO をはじめとするキャッシュレス決済に対応していない。また、郊外部から通学する高校生や高齢者から運賃負担が重いという声が寄せられているため、これらの課題を解決し、より便利に公共交通を利用できるようにするため、Web を活用した1日乗車券及び4枚つづりの回数券を発行した。
- ・対象路線は、南房総市営バスを除く2市エリア内全てのバス路線で、1日乗車券は選択した1日乗り降り自由、回数券は選択した路線について、区間を問わず4回利用できる設定とし、市街地循環バス無料チケットを4枚付与。

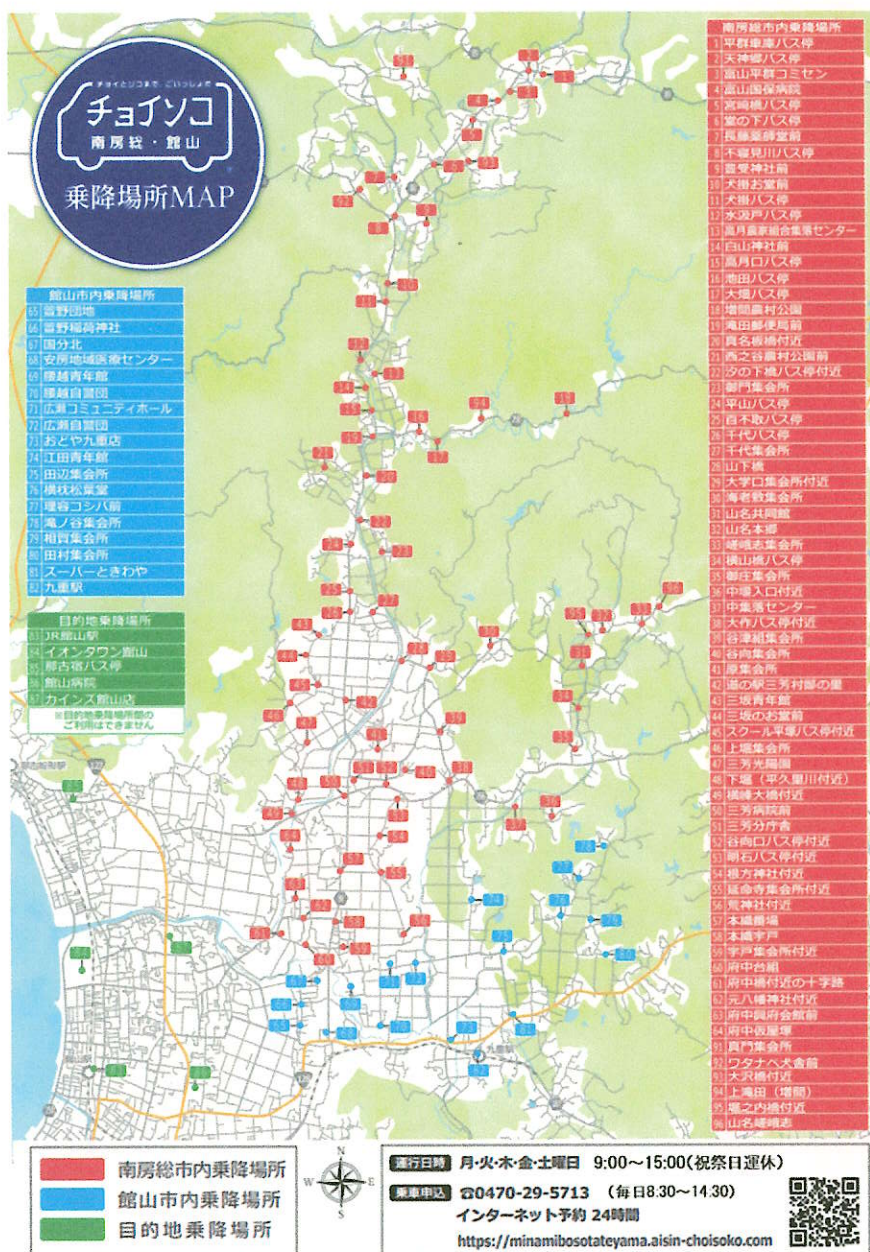
○詳細仕様、実績

- ・ウェルネット社のWeb乗車券販売システムを活用。構築費用はかからず、販売時に手数料(6%)が発生する仕組みとなっている。
- ・3月末から販売を開始し、現在1日乗車券〇件、回数券〇件の売上がある。

1 運行概要

運行形態	区域運行による「チョイソコ南房総・館山」の実証運行
運行経路の概要	・運行区域—南房総市富山地区の一部、南房総市三芳地区全域 - 館山市九重地区の一部、館山市館野地区の一部 ・運行方法—電話予約等によるデマンド方式による乗合運行
運行時間帯	午前9時00分から午後3時00分まで ※午前9時から乗車ができ、午後3時に降車ができるように運行
運 行 日	月・火・木・金・土（祝日運休）
乗降場所数	93か所（以下、乗降場所MAP参照）※R5. 2. 17～9 か所増
運 賃	1回300円、目的地乗降場所は700円（WEB 予約は500円） 運転免許経歴証明書・障害者手帳の提示で半額
運行車両	ハイエース1台（利用定員8名）を基本とし、予備車（セダン車）1台
委託事業者	システム：株式会社アイシン（チョイソコ） 運行事業者：鏡浦自動車株式会社
その他	会員登録：WEB 又は申込書による（会員証の発行有） 予約方法：電話又はWEB による 決済方法：現金のほか各種クレジットカード、電子マネー可 その他：南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の利用可

乗降場所MAP

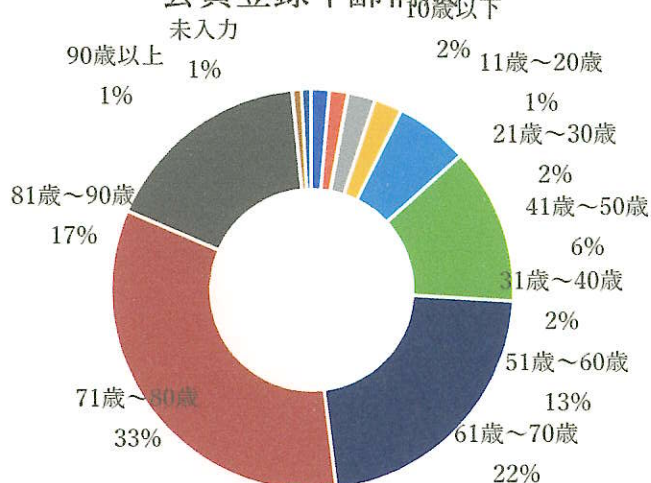


2 令和5年3月31日までの実績

(1) 会員登録状況（3月31日時点）

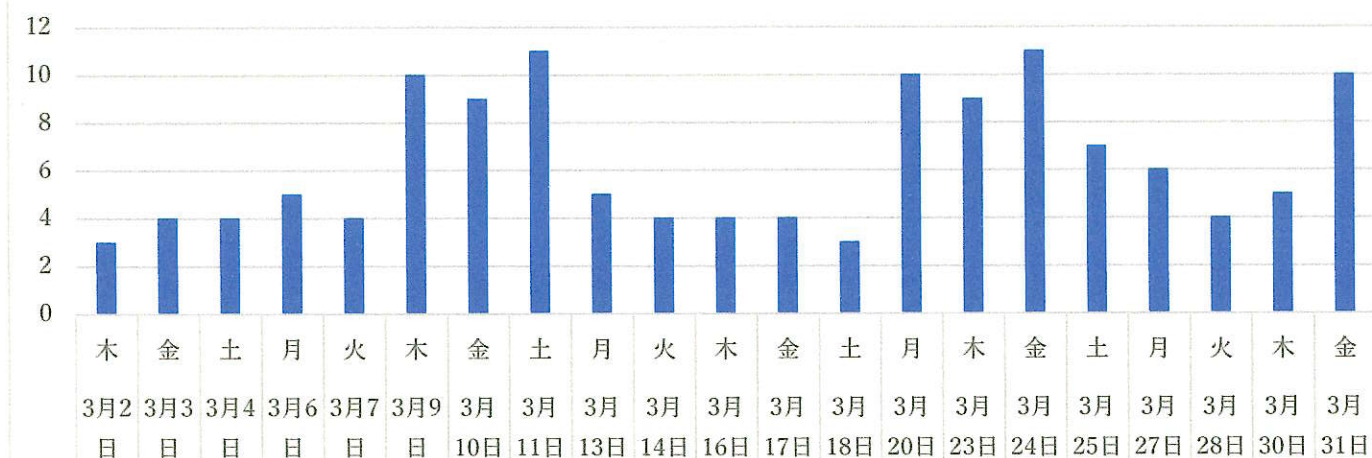
登録者数			1 7 1 人	割合
性別	男性		6 2 人	3 6 %
		60 歳以下	2 1 人	1 2 %
		61 歳以上	4 1 人	2 4 %
	女性		1 0 9 人	6 4 %
		60 歳以下	2 9 人	1 7 %
61 歳以上		8 0 人	4 7 %	
居住地	南房総市内		9 4 人	5 5 %
	館山市内		4 3 人	2 5 %
	その他		3 4 人	2 0 %

会員登録年齢構成



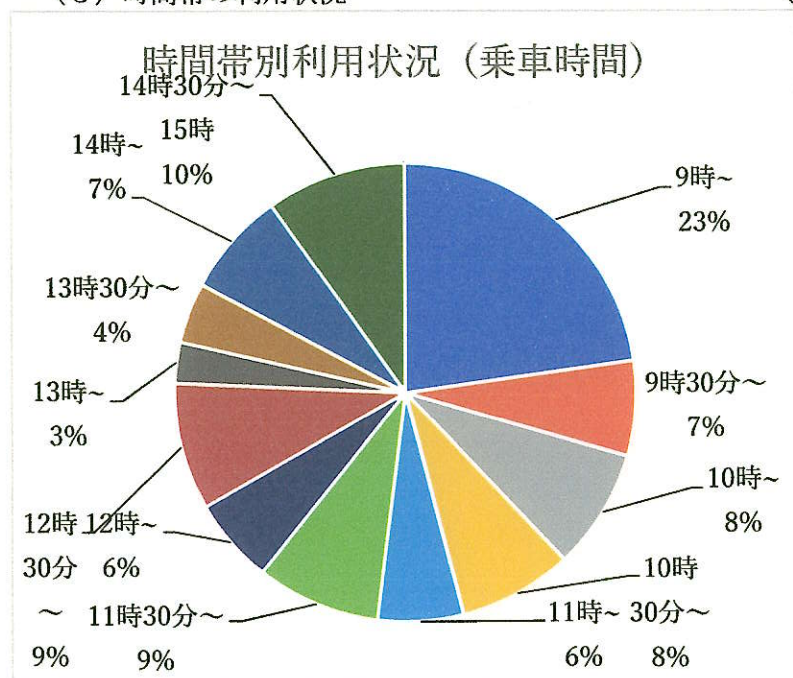
(2) 利用実績

利用実績（R5.3.2～31）

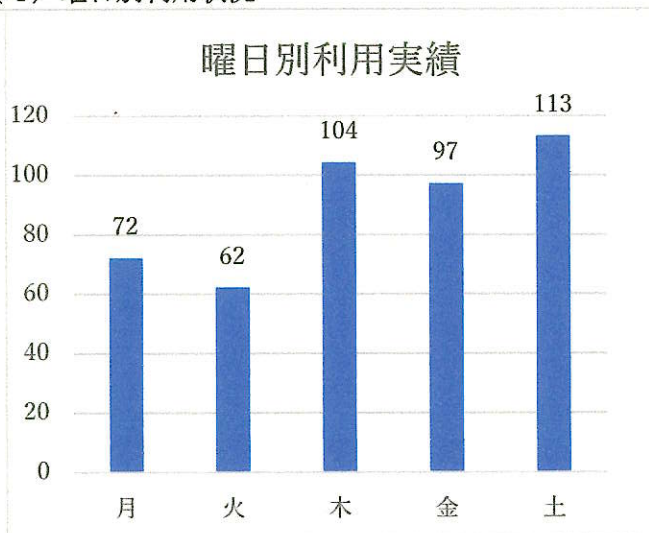


※のべ利用者数：448人 1日平均3.96人（実働113日間）

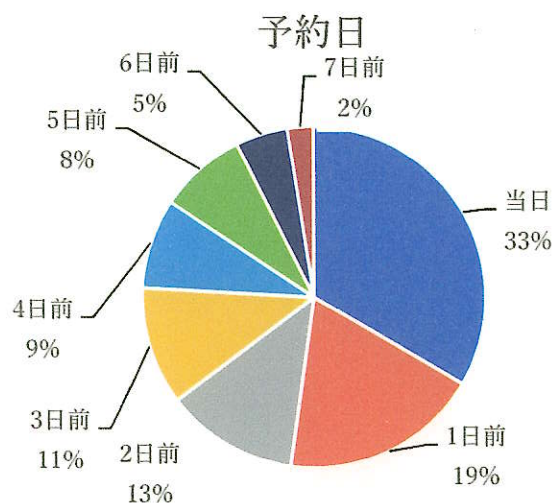
(3) 時間帯の利用状況



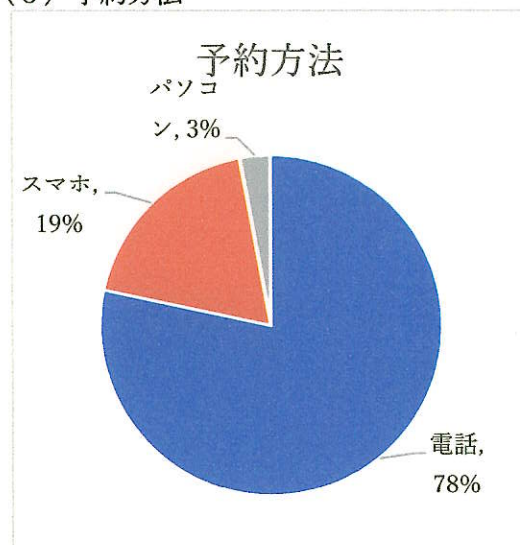
(4) 曜日別利用状況



(5) 予約日の状況

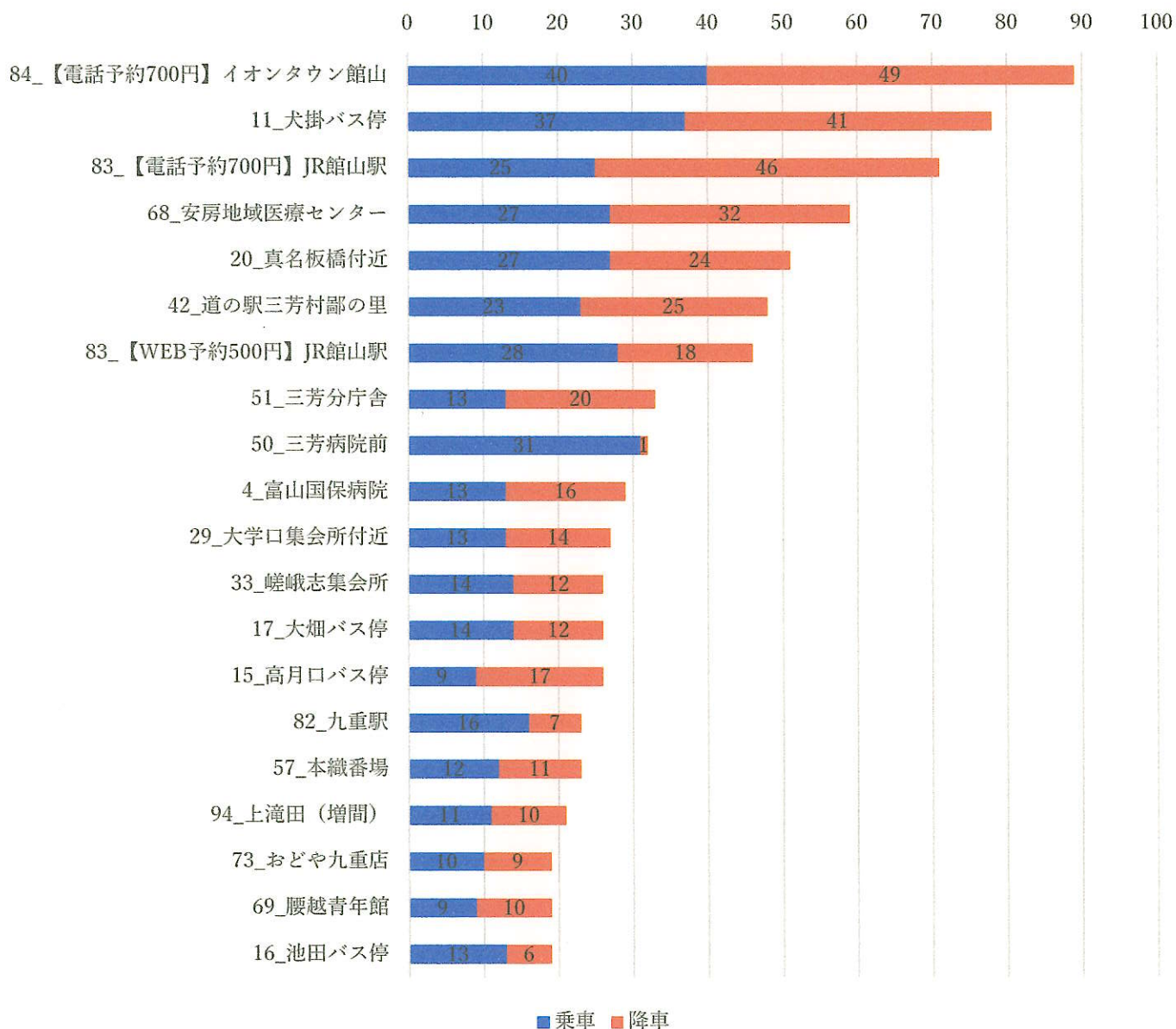


(6) 予約方法



(7) 乗降場所の乗降数

乗降場所別利用者数（上位20か所）

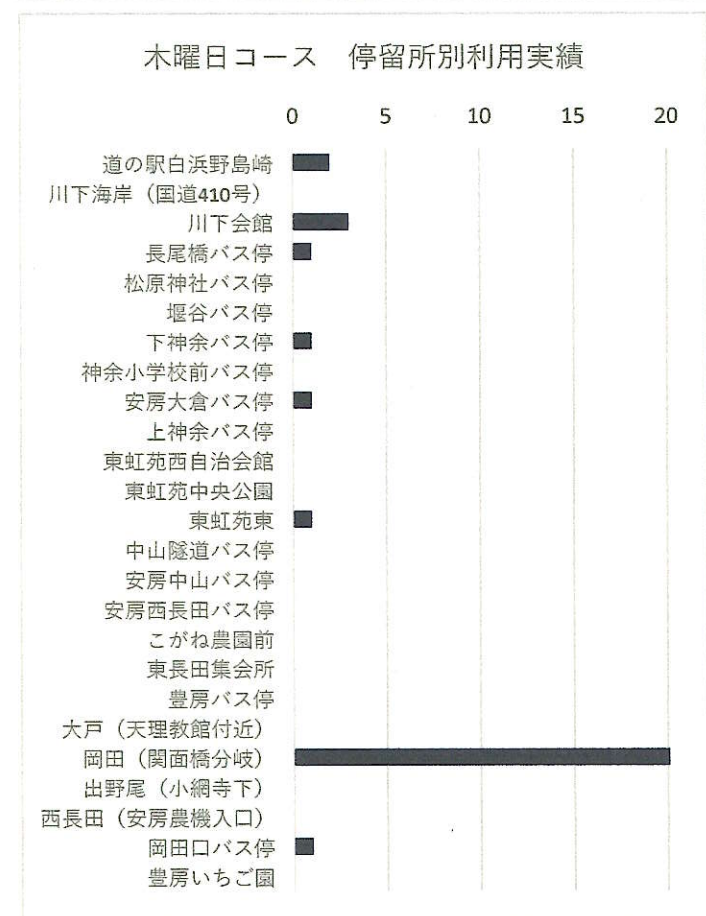
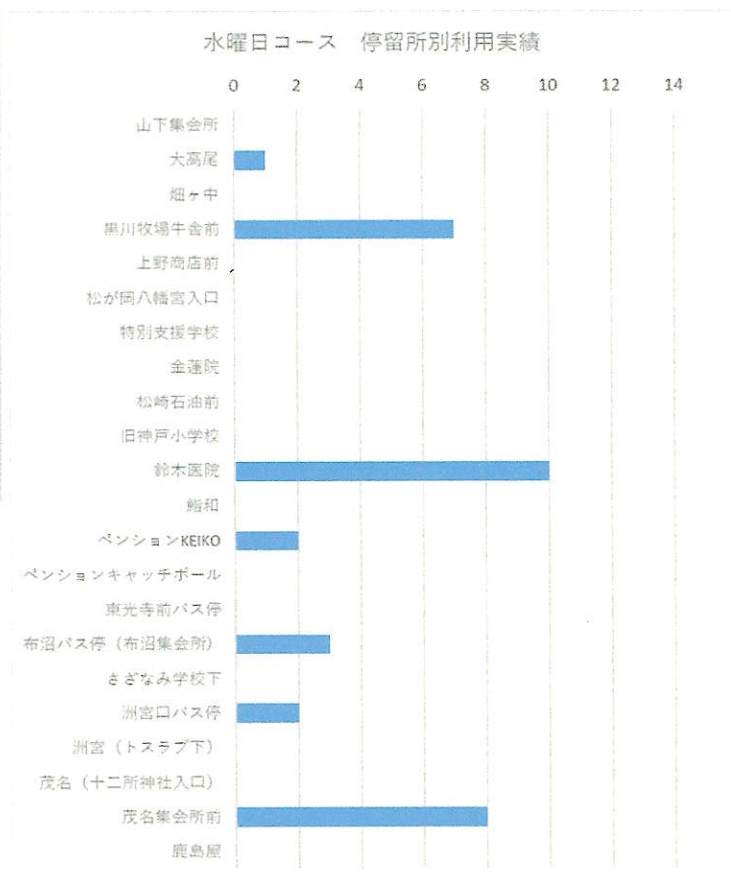
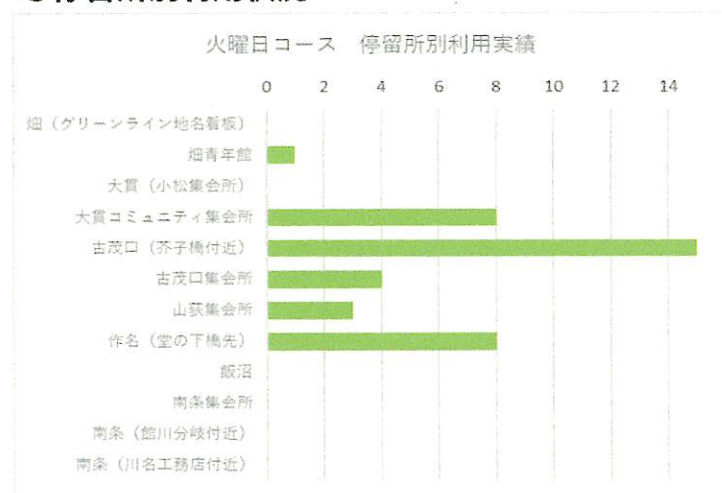


豊房線エリア等買い物シャトルサービス 利用状況（12/1～3/30の実績）

○コース別利用状況

運行コース	運行便数	利用者数		合計	1便平均
		往路	復路		
火曜日コース（畑・大貫・古茂口等）	34	38	32	70	2.1
水曜日コース（神余・竜岡・布沼等）	34	33	30	63	1.9
木曜日コース（川下・東虹苑・岡田等）	36	31	30	61	1.7
合 計	104	102	92	194	1.9

○停留所別利用状況



○利用状況分析・利用者からの声

- ・全体的に利用者が固定化してきている印象。
- ・利用者ゼロの日も目立ってきており、改善、再周知が必要。⇒3月末の広報に合せ、チラシ配布

豊房線エリア等買い物シャトルサービス 利用状況（12/1～3/30の実績）

- ・利用者からは「1往復のみで、行先も限定されるので使いづらい」という声が上がっている。
- ・「通院で利用したい」という声も寄せられている。
- ・負担が大きいという意見あり。
⇒4月以降は、障害者手帳又は運転経歴証明書所持者は半額とする

○今後の展開見通し

- ・本形態がニーズに合っていない可能性があるうえ、利用者が固定化しており、現状の運行方法は非効率であると考えられる。
- ・平群線エリアで導入している「チョイソコ」の適用を検討し、可能であれば令和5年度中の実証開始を視野に入りたい。

南房総・館山地域公共交通計画の評価指標について

【令和4（2022）年度末の状況報告】

評価指標	指標の定義	計画時の値 (2018)	現況値 (2022)	達成率	目標値 (2025)	経過状況
公共交通利用者数	圏域内バス路線の年間利用者数	347 千人	263 千人	76%		人口減少やコロナ禍における路線バス利用者離れが続いており、目標値より△24%となった。
	地域間幹線系統バス路線の年間利用者数	265 千人	183 千人	69%	現状維持	上記同様の利用により目標値より△31%となった。
	1日あたりの鉄道路利用者数（有人駅）	2,955 人/日	2,337 人/日	79%		人口減少やコロナ禍における鉄道利用者離れが続いており、目標値より△21%となった。
	高速バスの年間利用者数	913 千人	497 千人	54%		コロナ禍における高速路線バス利用者離れが続いており、目標値より△46%となった。
年間観光客数	道の駅等の主要観光施設の年間観光入込客数	7,101 千人	4,450 千人	63%	現状維持	コロナ禍における観光流動の減少が顕著に現れた結果となった。
移動困難者の割合	市民アンケート調査における公共交通利用に困っている人の割合	11.0 %	— %	—	5.0 %未満	最終年度においてアンケート調査を行い、検証する予定
運転免許返納件数	運転免許証返納件数	361 件	406 件	112%	700 件	令和4年の館山署管内実績値 ※参考：先のうち運転経歴証明書申請者数300件
交通結節点の機能強化	交通結節点の整備・機能強化 （バス待ち環境整備等）	なし	新規なし	—	5箇所	路線バス等の再編の中で引き続き検討していく。
財政負担額	地域内バス路線における2市の補助金	79,851 千円	86,394 千円	6,543	現状維持	利用者現状に伴う収入減等により補助額が増えたほか、地域間幹線系統においても協調補助額が増えた。
収支率	地域間幹線系統 ※鉄道は除く	62.0 %	48.7 %	-13.3	現状維持	利用者減少、人件費や修繕費等の経費の増加により、市負担額が増えた結果となった。
	地域内路線 ※洲の崎線は除く	27.5 %	29.7 %	+2.2		

南房総・館山地域公共交通活性化協議会

令和4年度収支決算書

収入総額 16,293,802 円

支出総額 11,641,968 円

差 引 4,651,834 円

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する 増減	説 明
1 負担金	15,134,000	10,000,000	△ 5,134,000	南房総市負担金 5,000,000 館山市負担金 5,000,000
2 補助金	5,500,000	4,196,250	△ 1,303,750	持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金 (県補助金) 1,196,250 新モビリティサービス導入推進事業補助金 (県補助金) 3,000,000
3 繰越金	2,097,527	2,097,527	0	
4 諸収入	73	25	△ 48	
合計	22,731,600	16,293,802	△ 6,437,798	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する 増減	説 明
1 会議費	655,000	373,970	△ 281,030	報償費、費用弁償等
2 事務費	44,000	24,740	△ 19,260	振込手数料、印紙代等
3 事業費	19,933,800	11,243,258	△ 8,690,542	平群線(三芳エリア)デマンド交通実証運行費 8,531,208 豊房線エリア買い物シャトルサービス実証運行費 2,470,050 空白地対策に係るアドバイザー派遣費用 123,200 企画乗車券事業費 118,800
4 予備費	2,098,800	0	△ 2,098,800	
合計	22,731,600	11,641,968	△ 11,089,632	

南房総・館山地域公共交通活性化協議会 令和5年度事業計画案

【協議第4号】

事業名称	具体的内容	合同計画への位置づけ	予算額
平群線（三芳エリア）AIデマンド交通 「チョイソコ南房総・館山」実証運行及び本格運行 【地域内路線の再編】 【公共交通空白地対策】	令和4年度実証運行における1日当たりの利用人数は3.96人となり、R3年度実証運行（安房地域医療センター～平群車庫間の定時定路線型デマンド運行）の1日当たり2.9人を上回った。これを受け、10月以降は、平群線を廃止のうえ、「チョイソコ南房総・館山」の本格運行を行うこととし、それに向けた需要の再確認や本格運行の準備を行うための実証運行を9月まで行うこととした。 い。。※詳細は協議第6号にて説明します。 【運行計画案】 ①実証運行 ・R4年度実証運行の内容を踏襲し、AIオンデマンドシステムを活用した予約制乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」を運行する。（運行時間帯については、R4の9:00～15:00を8:30～15:30（13:00～14:00休み）に変更） ②本格運行（R5.10月～） ・既存のバス路線平群線は廃止し、チョイソコ南房総・館山に移行させる。 ・運行時間帯、運行台数等詳細については、ニーズや予算を確認しながら今後検討し、確定させる。	事業3 地域内路線の再編及び有効活用（丸線・平群線）丸線・平群線の見直し	22,175千円
豊房線エリア買い物シャトルサービス 実証運行 【地域内路線の再編】 【公共交通空白地対策】	車両納車の遅れ等により、令和4年度実証運行の開始が12月までずれ込み、十分な検証期間が得られなかったことから、令和5年度も継続して実証運行を行い、ニーズの確認等を行いたい。また、現在は定時定路線型で曜日、時刻、目的地を限定して運行しているが、非効率な運行（利用者がいないにも関わらず全ての停車ポイントを走行している）やニーズとの乖離が見られるため、下半期を目的にAIデマンドシステム（チョイソコ）を導入し、デマンド型運行の実証を行いたいと考えている。 【運行計画案】 ①実証運行（R5.4月～9月） ・令和4年度実証運行と同内容にて、3コースを週に1回ずつ、尾張屋館山本店、おどやスパーセンター、館山病院へ送迎する買い物シャトルサービスを実証する。 ②実証運行（R5.10月以降） ・AIデマンドシステムを導入し、改めてニーズの把握を行う。 ・停車ポイント設定エリアや運行日、運行時間帯等詳細については、ニーズや予算を確認しながら今後検討し、確定させる。 ※既存の豊房線の運行は継続させる。	事業2 地域内路線の再編及び有効活用（白浜千倉館山線・豊房線） ②豊房線の見直し 事業5 フィーダー交通・補完交通の整備	10,722千円
公共交通空白地対策アドバイザー派遣 【公共交通空白地対策】	公共交通空白地における実証運行の本格化や路線バスの再編を検討するにあたり、当該地区住民のニーズのくみ取りや意見交換等を効果的に実施し、より良い事業内容とするため、アドバイザーを招へいし、当該地区での意見交換会や事業内容立案に参画してもらう。	事業2 地域内路線の再編及び有効活用（白浜千倉館山線・豊房線）	300千円
（仮称）南房総・館山地域MaaS構築運営 【利用促進・分かりやすい利用環境整備】	令和4年度末から販売を開始したWeb上でのバス乗車券類販売の仕組みを拡充させ、夏以降も販売を継続するとともに、適用範囲をタクシーや鉄道等にも拡大させることを検討し、地域住民や観光客がストレスなく公共交通を利用できる環境整備を推進する。	事業9 利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備	500千円
キャッシュレス決済導入に向けた調査 【利用促進・分かりやすい利用環境整備】	昨今、交通系ICカード以外に様々なキャッシュレス決済手段（QRコード決済やWAON（イオン）、コジカカード（おどや）等）が整備される中、地域住民のキャッシュレス決済利用動向を調査し、どのような手段を導入することが最も効果的かを検証したい。	事業9 利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備	1,000千円

南房総・館山地域公共交通活性化協議会

令和5年度収支予算書(案)

収入総額 36,767,870 円

支出総額 36,767,870 円

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に 対する増減	説 明
1 負担金	31,616,000	15,134,000	16,482,000	南房総市負担金 15,637,000 館山市負担金 15,979,000
2 補助金	500,000	5,500,000	△ 5,000,000	持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金 (県補助金)※ 500,000
3 繰越金	4,651,834	2,097,527	2,554,307	
4 諸収入	36	73	△ 37	利息等
合計	36,767,870	22,731,600	14,036,270	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に 対する増減	説 明
1 会議費	479,790	655,000	△ 175,210	報償費、費用弁償等
2 事務費	90,000	44,000	46,000	振込手数料、印紙代等
3 事業費	34,695,240	19,933,800	14,761,440	平群線(三芳エリア)デマンド交通実証・本格運行費 22,174,140 豊房線エリア買い物シャトルサービス実証運行費 10,721,100 空白地対策に係るアドバイザー派遣費用 300,000 (仮称)南房総・館山地域MaaS構築運営費用 500,000 キャッシュレス導入に向けた基礎調査費用 1,000,000
4 予備費	1,502,840	2,098,800	△ 595,960	
合計	36,767,870	22,731,600	14,036,270	

※ 県補助金については、協議会終了後申請予定